

生活単元学習指導案（略案）

平成26年11月14日 金曜日 2校時
 小学部3組 男子3人 女子3人 計6人
 場所 小学部3組教室
 指導者 ○○○○(CT) ○○○○(ST)

1 単元 「でかけよう2」

2 本時の実際（2/24）

(1) 全体目標

「でかけよう1」の様子を振り返る活動や保護者からのビデオレターを見る活動を通して、「でかけよう2」の目標を決めることができる。

(2) 評価規準

育てたい力	評価規準	観点
自分づくり	① 「でかけよう1」を振り返ったり、保護者からのビデオレターを視聴したりして、自分の課題を理解している。 ② 状況に応じたマナーを意識しようとしている。	【知識・理解】 【思考・判断・表現】
関係づくり	③ 保護者や友達からの意見を参考にしながら考えようとしている。	【関心・意欲・態度】

(3) 個人目標

児童	個人目標
U. Ko (5年, 男)	「でかけよう1」の様子を振り返ったり、日常生活場面で頑張っていることを知ったりする活動を通して、教師と一緒に自分の目標を考えることができる。
H. S (5年, 男)	「でかけよう1」での良かったところを振り返ったり、日常の出掛ける場面で課題となっていることを知ったりする活動を通して、自分の目標を自分で考えることができる。
U. Ki (5年, 女)	友達の活動の様子を想起したり、家庭で出掛ける際に頑張っていることを保護者から称賛されたりする活動を通して、目標を選択肢の中から自分で選択することができる。
Y. S (6年, 男)	「でかけよう1」の様子を振り返ったり、友達の活動の様子を参考にしたり、よりよい活動の姿を選択したりする活動を通して、教師と一緒に自分の目標を考えることができる。
J. W (6年, 女)	「でかけよう1」の様子を振り返ったり、保護者が出掛ける場面で課題と考えていることを知ったりする活動を通して、友達の意見を取り入れながら、自分で目標を考えることができる。
T. E (6年, 女)	「でかけよう1」の様子を振り返ったり、家庭で頑張っていることを称賛されたりする活動を通して、友達や教師の意見を参考にしながら自分で自分の目標を考えることができる。

(4) 指導及び支援に当たって

学習活動の概要と授業環境の工夫

本学級の児童は前時まで、「でかけよう1」で学んだことを動画や画像を確認し、振り返ることができている。さらに、今回の「でかけよう2」について確認し、みんなで出掛けることに対する期待感が高まっている。そこで、本時では、「でかけよう1」で自分の「よかったところ」や「友達と協力できたところ」を確認できるようにする【関係づくり】。その上で、今回の「でかけよう2」に向けて、「がんばること」を考えることができるようにする【自分づくり】。

教材・教具とのかかわりについて

ア 「でかけよう1」の時の画像や保護者からのビデオレターを視聴することで、児童ができていたところ、頑張っていたところをそれぞれの児童が確認できるようにする。
 イ 「よかったところ」や「これからがんばりたいこと」のポイントをまとめたワークシートを用いることで、児童ができるだけ自分でまとめたり、発表したりすることができるようにする。

人（友達や教師）とのかかわりについて

ア 友達の意見も参考にしながら、自分の良くできていたところを確認したり、「でかけよう2」での目標を決めたりする。
 イ ペアになる友達を確認しておき、自分の考えを友達に伝えたり、友達の意見を参考に自分の意見を考えたりすることができるようにする。

自分とのかかわりについて

ア めあてを決める活動では、「でかけよう」、「がんばること」などに関する児童の発言を引き出しながら、めあてを決めていくことで、学習の目的を明確にできるようにする。
 イ 動画や画像を見て、必要に応じてメモを取ることで、自分の目標を意識しながら自分自身の取組を振り返ることができるようにする。
 ウ 全員が自分で考えた「がんばること」を友達の前で発表することで、自分の目標をより意識して次時以降の学習に生かすことができるようにする。

(5) 実際

過程	主な学習活動	指導及び支援上の留意点	資料・準備
導入 (8分)	<p>1 始めの挨拶をする。</p> <p>2 本時の学習を確認する。</p> <p>3 「でかけよう1」でよくできたこと、できなかったことを話し合う。</p> <p>4 本時のめあてを話し合う。</p> <p>「でかけよう2」で「がんばること」をかんがえよう。</p> <p>5 本時の学習の流れを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶の号令をする児童を決め、姿勢を正して学習の始まりを意識することができるようにする。 学習カレンダーや学習計画表を参考に、本時の学習を確認することができるようにする。 前時で確認した「でかけよう1」の時の動画等から、児童がよくできていたところ、できなかったところをそれぞれの児童が確認できるようにする。 「でかけよう2」、「がんばること」などの言葉を引き出しながらめあてを決めていくことで、学習の目的を明確にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習カレンダー 学習計画表 「でかけよう1」の動画、画像
展開 (30分)	<p>6 保護者からのビデオレターを視聴する。</p> <p>(1) 普段の出掛ける活動でよく頑張っていること</p> <p>(2) 普段の出掛ける活動でもっと頑張してほしいこと</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路歩行場面 バス利用場面 買物場面 その他 <p>7 自分の「がんばること」を決める。</p> <p>(1) 「でかけよう1」から「がんばること」をワークシートに書く。</p> <p>(2) 保護者からのビデオレターから考えた「がんばること」をワークシートに書く。</p> <p>8 自分の「がんばること」をまとめる。</p> <p>9 自分の「がんばること」を発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> H. Sには、動画や画像を見て、必要に応じてメモを取りながら、振り返ることができるようにCTが言葉掛けをする。 U. K oが友達の出ている場面に注目することが難しい場合には、STが「何と言っている？」等の質問をすることで注目することができるようにする。 Y. Sには、保護者からのビデオレターで伝えられたことが何かを選択肢から選ぶことで、自分の課題を意識することができるようにする。 U. K iには、自分の「がんばること」を選択するとともに、言葉や身振りにして表現することで意識付けるようにする。 T. Eが「がんばること」を記入する際に選択することが難しい場合には、STが友達の意見も参考にできるように伝えることで自分で決めることができるようにする。 J. Wが「がんばること」を決められずに悩んでいる場合には、友達の意見も参考にしながら、自分のできていることを認めつつ、より適切な頑張りたいことを教師と決め、発表することができるようにする。 発表する際には、みんなに伝わりやすいように、見えやすい決められた位置に立つことをCTが伝えるようにする。 姿勢を正して発表することができた児童を称賛することで、全員が発表の姿勢を意識できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者からのビデオレター タブレット端末 ワークシート 声の物差し
終末 (7分)	<p>10 学習の振り返りをする。</p> <p>11 終わりの挨拶をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本時のめあてを振り返り、自分の目標を考えることができたことを確認し、達成感を味わうことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習カレンダー 学習計画表

(6) 評価

「でかけよう1」の様子を振り返る活動や保護者からのビデオレターを見る活動を通して、「でかけよう2」の目標を考えることができたか。